

第 6 期 事 業 報 告 書

平 成 2 8 年 度

平成 2 8 年 4 月 1 日から

平成 2 9 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都文京区後楽 2 丁目 1 番 1 1 号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

I 事業の状況

1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額153,739,776円の募金を行った。
- (2) 平成28年4月に発生した熊本地震により被災された透析医療の復興を支援するため、腎臓に関連する諸団体と連携して、総額16,689,776円の募金を募り、熊本県の透析患者さんへの支援、熊本県腎臓病患者連絡協議会への寄付を行なった。
- (3) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (4) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、透析療法従事職員研修、褒賞、雑誌発行などの事業は順調に遂行され、事業費は総額222,226,645円を支出した。
- (5) 透析療法従事職員研修について、集中講義及び実習研修を行った。
- (6) 日本腎臓財団各賞の表彰を行い、受賞者座談会記録を作成した。
- (7) 腎不全医療関係者に対して公募助成を行った。
- (8) 平成28年10月、厚生労働省、静岡県などが行った臓器移植普及推進月間行事に主催として協力した。
- (9) 雑誌「腎臓」VOL. 39を発行した。
- (10) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 54、VOL. 55を発行した。
- (11) 「CKD対策推進のための市民公開セミナー」を東京で開催した。
- (12) 総事業費支出に対する助成金支出率は57%である。
期末基本財産は920,000,000円である。

2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額153,739,776円の募金を行った。

3. 賛助会員

- (1) 平成29年3月末の会員数は865会員（1,035口）である。
内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員 a（10口以上）	2会員（20口）
特別会員 b（5～9口）	4会員（21口）
一般会員（1～4口）	653会員（693口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口）	60会員（66口）
------------	-----------
 - 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員 a（10口以上）	5会員（50口）
特別会員 b（5～9口）	5会員（25口）
一般会員（1～4口）	136会員（160口）

(2) 平成28年4月～平成29年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 21会員(24口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

- 北海道・医療法人 友秀会 伊丹腎クリニック
- 東京・医療法人 平和会 南大井クリニック (団体B会員から変更)
- 埼玉・医療法人 健仁会 益子病院附属透析クリニック
- 埼玉・医療法人社団 積善会 ウメヅ医院
- 埼玉・医療法人 慈正会 丸山記念総合病院
- 埼玉・医療法人 社団哺育会 白岡中央総合病院
- 埼玉・社会医療法人社団 新都市医療研究会[関越]会 南町クリニック
- 埼玉・医療法人 瑞友会 新河岸腎クリニック
- 埼玉・医療法人社団 輔正会 岡村記念クリニック
- 埼玉・社会医療法人財団 石心会 さやま腎クリニック
- 埼玉・社会医療法人社団 新都市医療研究会[関越]会 関越病院
- 埼玉・医療法人社団 宏仁会 高坂醫院
- 埼玉・医療法人社団 宏仁会 小川病院
- 埼玉・社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院
- 埼玉・医療法人 周峰会 こいづかクリニック
- 埼玉・医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院
- 埼玉・医療法人 桂水会 岡病院
- 新潟・医療法人 悠生会 舞平クリニック (団体B会員から変更)
- 大阪・医療法人 虹緑会 岸田クリニック (団体B会員から変更)
- 愛媛・市立大洲病院
- 愛媛・医療法人 なかの泌尿器科

2) 団体B会員 3会員(3口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

- 埼玉・益山クリニック
- 埼玉・鶴瀬腎クリニック
- 鳥取・米子西クリニック

3) 個人会員 12会員(14口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

- 東京・櫛田 彰
- 東京・松川 重明
- 東京・力石 昭宏
- 神奈川・近藤 勇三郎
- 神奈川・山本 裕康

神奈川・ 菱倉 純子
 神奈川・ 小澤 よね子
 千 葉・ 小林 守司
 埼 玉・ 小川 智也
 埼 玉・ 板倉 繁巳
 埼 玉・ 小林 竜也
 京 都・ 平井 悦美

4) 平成28年4月に発生した熊本地震のため、熊本県の賛助会員に対しては平成28年度の賛助会費を免除した。

4. 研究・学会・支援助成事業（公益目的事業1）

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および学会、研究会に対して80,514,000円の助成を行った。

(1) 研究助成（敬称略）	13件	71,404,000円
1) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会		
医療法人社団 韃生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・佐中 孜		1,500,000円
2) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会		
東京女子医科大学 第四内科・新田 孝作		12,347,000円
3) 腎不全研究会		
東海大学医学部・深川 雅史		2,500,000円
4) 二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTx（副甲状腺摘出術）症例についての疫学と予後に関する調査		
名古屋第二赤十字病院・富永 芳博		950,000円
5) 腎疾患における腎機能低下抑制のための最適制御法検出に関する研究会		
医療法人 有心会 大幸砂田橋クリニック・前田 憲志		105,000円
6) 透析患者における活性型ビタミンDの心血管イベント抑制効果 -日本透析活性型ビタミンD試験(J-DAVID) -		
大阪市立大学大学院 医学研究科・稲葉 雅章		14,250,000円
7) 糖尿病性腎症治療懇話会が実施する「糖尿病血液透析患者の予後に対するグリコアルブミン値の影響の検討」		
東京女子医科大学 糖尿病センター・内潟 安子		900,000円
8) 慢性腎臓病（CKD）の疾患啓発広報事業研究		
日本慢性腎臓病対策協議会・柏原 直樹		7,457,000円
9) 「CKD発症進展予防のための特定健診データベース解析に基づく包括的地域保健医療連携システムの確立」研究プロジェクト		
福島県立医科大学医学部・渡辺 毅		5,700,000円

1 0)	CKD啓発動画研究会によるCKD認知度向上に有効なインターネット動画製作とその効果の検討 国際医療福祉大学病院・安藤 康宏		190,000円
1 1)	次世代腎研究アカデミー 東京大学大学院 医学系研究科・南学 正臣		3,325,000円
1 2)	腎泌尿器癌研究会 東京女子医科大学 泌尿器科学・田邊 一成		18,900,000円
1 3)	日仏米心臓血管外科研究交流会 京都大学大学院 医学研究科・湊谷 謙司		3,280,000円
(2)	学会助成 (敬称略)	6 件	9,110,000 円
1)	第62回日本透析医学会学術集会・総会 埼玉医科大学 総合診療内科・中元 秀友		1,520,000円
2)	第26回日本腎不全外科研究会 医療法人社団 望星会 望星病院・小口 健一		2,470,000円
3)	Dialysis Access Symposium 2017 医療法人 偕行会 名港共立クリニック・佐藤 隆		969,000円
4)	第37回日本アフレスシス学会学術大会 昭和大学横浜市北部病院・衣笠 えり子		1,339,000円
5)	第19回日本腎不全看護学会学術集会・総会 公益財団法人 浅香山病院・中原 宣子		551,000円
6)	第21回国際疫学会総会 自治医科大学・中村 好一		2,261,000円

5. 公募助成事業 (公益目的事業 1)

腎不全病態研究助成 「腎性貧血」「腎性骨症」に関する研究助成

平成28年9月10日、丸ビル ホール&コンファレンススクエアに於いて平成27年度対象者57名のうち特に優れた研究を行った15名の研究者による研究発表会を開催した。

同日同場所に於いて開催した選考委員会にて、平成28年度対象者下記34名に対して34,624,000円の助成が決定した。

(敬称略)

1. 東京慈恵会医科大学附属第三病院 腎臓・高血圧内科 中島 章雄
2. 久留米大学病院 医学部内科学講座 腎臓内科部門 中山 陽介
3. 自治医科大学 医学部 総合医学第1講座 (腎臓内科) 大河原 晋
4. 筑波技術大学 保健科学部 理学療法学専攻 三浦 美佐
5. 奈良県立医科大学 第一内科 松井 勝
6. 医療法人 翠悠会 翠悠会診療所 田中 賢治
7. 東北大学病院 血液浄化療法部 山本 多恵
8. 東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 濱田 華

9. 立川総合病院 大塚 忠司
10. 昭和大学江東豊洲病院 内科（腎臓内科） 本田 浩一
11. 徳島大学病院 検査部 松浦 元一
12. 東京女子医科大学病院 血液浄化療法科 亀井 大悟
13. 虎の門病院 リウマチ膠原病科 星野 純一
14. 兵庫県立西宮病院 腎疾患総合医療センター 米本 佐代子
15. だいもん内科・腎透析クリニック 西谷 光広
16. 松下会あけぼのクリニック 田中 元子
17. 医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 後町 結
18. 順天堂大学 腎臓内科 野原 奈緒
19. 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎臓内科 吉岡 友基
20. 大阪大学大学院 医学系研究科 腎疾患統合医療学寄附講座 坂口 悠介
21. 大阪大学大学院 医学系研究科 腎臓内科学 松井 功
22. 熊本大学医学部附属病院 循環器内科 山本 英一郎
23. 国立大学法人 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 竹谷 豊
24. 昭和大学 医学部 内科学講座 腎臓内科学部門 溝渕 正英
25. 長岡赤十字病院 腎臓・膠原病内科 井口 昭
26. 聖マリアンナ医科大学病院 上原 温子
27. 大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学 今西 康雄
28. 順天堂大学医学部附属練馬病院 井下 博之
29. 秋田大学医学部附属病院 血液浄化療法部 齋藤 満
30. 牧田総合病院 腎臓内科 井芹 健
31. 自治医科大学附属さいたま医療センター 内分泌代謝科 山田 穂高
32. 東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科 川端 千晶
33. 医療法人社団 日高会 腎臓病治療センター 永野 伸郎
34. 山口県済生会豊浦病院 内科 川田 泰伸

6. 熊本地震復興支援

平成28年4月に発生した熊本地震により被災された透析医療の復興を支援するため、腎臓に関連する諸団体と連携して、寄付金を募集した。

寄付金 286件、総額16,689,776円となった。

寄付金使途 自己管理にお役立て頂くため、自動加圧血圧計を熊本県の全透析患者さん（総数6,606名）へお届けした。また、熊本県腎臓病患者連絡協議会へ1,000,000円を寄付した。

なお、熊本県の賛助会員に対しては、2016年度の賛助会費を免除した。

7. 透析療法従事職員研修事業（公益目的事業2）

(1) 平成28年7月16日、17日大宮ソニックシティに於いて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師を対象に集中講義を行い、引き続き全国185の実施指定施設に於いて、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は透析経験年数により70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,372名、そのうち実習者282名に対し、修了証書を交付した。

(2) 透析療法従事職員研修運営委員会

平成28年10月20日、銀行倶楽部に於いて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、平成28年度の反省と平成29年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業（公益目的事業2）

(1) 平成28年10月6日、銀行倶楽部に於いて褒賞選考委員会を開催し、平成29年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。また、功労賞は12月15日の運営会議にて1名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞	清水	不二雄	(新潟大学 名誉教授)
学術賞	黒尾	誠	(自治医科大学 分子病態治療研究センター 抗加齢医学研究部 教授)
学術賞	横山	仁	(金沢医科大学 医学部 腎臓内科学 教授)
功労賞	平松	信	(岡山済生会総合病院 腎臓病・糖尿病総合医療センター長)

平成29年2月24日、浜松町東京會館に於いて平成29年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

(2) 平成28年10月28日、銀行倶楽部に於いて平成28年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会記録を雑誌「腎臓」VOL.39に収録した。

9. 雑誌発行事業（公益目的事業2）

(1) 雑誌「腎臓」

- 1) 雑誌「腎臓」VOL.39を3,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 平成28年8月4日、日本工業倶楽部に於いて編集委員会を開催し、VOL.39及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL.54を47,000部、VOL.55を46,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 平成28年6月10日、リーガロイヤルホテルに於いて編集委員会を開催し、VOL.55、VOL.56、及び今後の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業（公益目的事業2）

CKDセミナー in 東京

平成29年2月12日、ニューピアホールに於いて、『CKDセミナー in 東京「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、720名の参加を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーを開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日デジタルに記事を掲載した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力（公益目的事業2）

平成28年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月23日、静岡県コンベンションアーツセンター グランシップで開かれた第18回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、静岡県、他各都道府県、日本医師会等と共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役員

平成28年5月13日現在（50音順）

会 長	岩 本 繁	公認会計士、学校法人東京経済大学理事長、 三井住友銀行社外取締役、株式会社岡村製作所社外監 査役
理 事 長	浅 野 泰	自治医科大学名誉教授
常務理事	小 池 正 司	元住友金属鉱山株式会社 代表取締役
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社会長、橋本総業株式会社 社外取締役
理 事	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門客員教授
理 事	小 西 輝 子	弁護士、小西輝子法律事務所
理 事	高 部 豊 彦	東日本電信電話株式会社シニアアドバイザー
理 事	寺 岡 慧	国際医療福祉大学熱海病院名誉病院長
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会政策委員
理 事	菱 田 明	浜松医科大学名誉教授
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック院長
理 事	水 附 裕 子	日本腎不全看護学会副理事長
理 事	御手洗 哲也	埼玉医科大学名誉教授
監 事	椿 慎 美	公認会計士、椿公認会計士事務所
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第14回理事会 平成28年5月13日 日本工業倶楽部 (東京都千代田区丸の内 1丁目4番6号)	1. 平成27年度(自平成27年4月1日から至平成28年3月31日)事業報告・決算報告承認の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 顧問選任の件	原案どおり満場一致で可決
第15回理事会 平成29年2月24日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 寄付金受入れ並びに助成金交付取扱規程、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、資産運用管理規程 一部改訂承認の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 平成29年度(自平成29年4月1日から至平成30年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

平成28年6月3日現在（50音順）

氏名	勤務地
秋田 瑞枝	弁護士、ひのき総合法律事務所
安藤 亮一	武蔵野赤十字病院腎臓内科部長
五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック院長
伊藤 貞嘉	東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 腎・高血圧・内分泌学分野教授
上田 善彦	獨協医科大学越谷病院病理診断科教授
大石 義英	学校法人鶴学園広島工業大学生命学部生体医工学科教授
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科教授
中原 宣子	公益財団法人浅香山病院透析室室長
成田 一衛	新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻教授
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門教授
西沢 邦浩	日経BP社ビズライフ局プロデューサー
新田 孝作	東京女子医科大学第四内科学教授
長谷川 芳樹	弁理士、創英国際特許法律事務所所長
平田 純生	熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター長・ 臨床薬理学分野教授
前波 輝彦	医療法人あさお会あさおクリニック理事長
八木澤 隆	自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学部門教授
山本 裕康	厚木市立病院院長

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第11回評議員会 平成28年6月3日 銀行倶楽部 (東京都千代田区丸の内 1丁目3番1号)	1. 平成27年度(自平成27年4月1日から至平成28年3月31日)事業報告・決算報告承認の件	原案どおり満場一致で可決
第12回評議員会 平成29年2月24日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 平成29年度(自平成29年4月1日から至平成30年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり満場一致で可決

3. 許可・認可に関する事項

平成29年3月2日、府益担第196号にて租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項に規定する要件を満たしていることの証明書「税額控除に係る証明書」の交付を受けた。

4. 契約に関する事項

該当事項なし

5. 登記に関する事項

平成28年6月27日に会計監査人の重任登記、平成28年8月12日に理事の変更登記を行った。

6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

7. その他特記事項

該当事項なし

以 上

平成28年度事業報告附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。